

いろいろな物に変身！！

みんな主役だ

11月に入り発表会に向けて絵本の世界に親しみながら、ごっこ遊びを楽しんでいます。

年長児



幼児のクラスでは、いろいろな役になりきって自分なりに台詞を考えて言ったり、どんな動き、仕草、表情をしたら、その役になりきれかを自分たちで考えたりして劇遊びを進めています。遊びを繰り返すにつれて、劇の流れもしっかりしてきてより楽しめるようになってきました。劇で使うものは自分たちで作ることも大切にし、子どもから出た「これが必要じゃない？」「どうやって作るの？」などの声を拾いながら、保育士や友達と一緒に考え製作しています。



年中児



年少児



未満児



劇の流れができてからは、他のクラスの友達に見てもらえる機会を設けています。見てもらえる側は気持ちが引き締まり大きな声が出るようになって良い緊張感を味わいながら役になりきっています。また他クラスの劇を見ることで、違ったおはなしの世界に親しみ、何度も見ているとセリフや踊りを覚えて真似をする姿もあります。発表会が終わった後は各クラスの劇ごっこに参加することを楽しみにして過ごしています。

劇ごっこのほかにも鬼ごっこやままごとなどに劇の要素を取り入れながら普段の遊びにお話を織り交ぜて遊んでいます。これからも表現する楽しさを存分に味わってほしいと思います。